

糖尿病内分泌内科

糖尿病内分泌内科は「糖尿病およびあらゆる内分泌疾患に対して、チーム医療による総合的な診断・治療にあたり、合併症の発症・進行を防ぐ」ことを目標にした診療を行っている。糖尿病診療では病態の精査、合併症の評価、適切な治療方針の決定、メディカルスタッフ皆が参加するチームでおこなう療養指導・教育とともに、病診連携に力を入れた診療を推進している。内分泌疾患では、的確な精査・診断による治療方針にもとづき、かつできる限り患者に寄り添ったフォローをかかりつけ医療機関とともにすすめる診療を目指している。内分泌疾患や糖尿病合併症の診療には、専門各診療科との協力が不可欠である中、当院には高度な専門性を有する診療科が揃っており、その強い力と連携して、精査・診断と治療から近隣医療機関と協力したフォローまで、完結した医療が提供できるよう努めている。2021年度はスタッフとレジデント医師8名（および外来非常勤医師2名）で診療にあたった。2021年3月に岩崎順博副部長、岩崎可南子医師、およびレジデントの境内大和医師、木村貞仁医師が退職した（岩崎順博、岩崎可南子両医師は退職後に海外留学）のち、2021年4月からは綾野志保副部長、およびレジデント医師として瀬野陽平医師（再度着任）、高橋尚子医師、酒井麻里子医師が、また2021年7月からは渋谷公尊副部長が当科に加わった。渋谷公尊副部長は京都大学糖尿病・内分泌・栄養内科での研究・診療ののち、米国ジョスリン糖尿病センター（ハーバードメディカルスクール）留学を経て、当院北野カデットプログラム3期生としての着任である。2021年9月に高橋尚子医師、同12月に綾野志保副部長（大阪府済生会野江病院糖尿病・内分泌内科に転勤）、2022年3月には瀬野陽平医師、酒井麻里子医師が退職、同4月からはレジデント医師として田辺悦子医師、塚口諒医師が当科診療に加わっている。研究活動では、当院の多様で豊富な臨床経験を活かし、診療に直結すると同時に独創的な見地を目指した様々な課題に積極的に取り組んでおり、内分泌疾患、代謝異常にかかる生化学的、分子生物学的機序を国際学術誌に報告するなど、医学・医療の進歩に寄与する成果を発信している。

a. 体制

濱崎暁洋（はまさき あきひろ） 主任部長

専門：糖尿病・内分泌疾患

本庶祥子（ほんじょ さちこ） 副部長（栄養部部長）

専門：糖尿病・内分泌疾患

綾野 志保（あやの しほ） 副部長

専門：糖尿病・内分泌疾患

（2021年12月退職）

渋谷公尊（しぶえ きみたか） 副部長

専門：糖尿病・内分泌疾患

(2021年7月入職)

瀬野 陽平 (せの ようへい) レジデント

専門 : 糖尿病・内分泌疾患

(2022年3月退職)

高橋 尚子 (たかはし ひさこ) レジデント

専門 : 糖尿病・内分泌疾患

(2021年4月入職)

(2021年9月退職)

長谷部 雅士 (はせべ まさし) レジデント

専門 : 糖尿病・内分泌疾患

酒井 麻里子 (さかい まりこ) レジデント

専門 : 糖尿病・内分泌疾患

(2022年3月退職)

田辺 悦子 (たなべ えつこ) レジデント

専門 : 糖尿病・内分泌疾患

(2022年4月入職)

塚口 諒 (つかぐち りょう) レジデント

専門 : 糖尿病・内分泌疾患

(2022年4月入職)

b. 診療実績

	年間入院患者数
糖尿病	244
下垂体疾患	50
副腎疾患	36
甲状腺・副甲状腺疾患およびその他	75

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 Hasebe M, Yoshiji S, Iwasaki Y, Kimura S, Seno Y, Keidai Y, Haraguchi T, Iwasaki K, Wada Y, Honjo S, Fujikawa J, Hamasaki A
 β -Cell Function and Glycemic Response to Dulaglutide in Patients with Type 2 Diabetes
American Diabetes Association
81th scientific sessions June 25-29, 2021 (Web)
- 2 Hasebe M, Yoshiji S, Iwasaki Y, Kimura S, Seno Y, Keidai Y, Haraguchi T, Iwasaki K, Wada Y, Honjo S, Fujikawa J, Hamasaki A
Exploring a suitable marker of residual beta cell function associated glycaemic response to dulaglutide in patients with type 2 diabetes
57th European association for the study of diabetes annual meeting Sep 27-Oct 1, 2021 (Web)
- 3 瀬野陽平、周 素蘇、長谷部雅士、吉治智志、境内大和、木村貞仁、岩崎可南子、岩崎順博、阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋
肥満外科手術前後でインクレチン効果改善を確認した2型糖尿病の1例
第94回日本内分泌学会学術総会 2021/4/22-5/30 (Web、群馬)
- 4 木村貞仁、岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、池内亮介、本庶祥子、岡田卓也、木村伯子、濱崎暁洋
両側褐色細胞腫に対して両側副腎部分切除術を施行したVHL病の1例
第94回日本内分泌学会学術総会 2021/4/22-5/30 (Web、群馬)
- 5 吉治智志、岩崎順博、境内大和、瀬野陽平、岩崎可南子、本庶祥子、山崎有人、笹野公伸、濱崎暁洋
GLP-1受容体作動薬投与開始後に顕在化した異所性ACTH産生腫瘍の1例
第94回日本内分泌学会学術総会 2021/4/22-5/30 (Web) (群馬)
- 6 和田良春、浜本芳之、吉治智志、原口卓也、長谷部雅士、木村貞仁、岩崎順博、境内大和、本庶祥子、藤川 潤、濱崎暁洋
新型コロナウイルス感染拡大局面における当院通院患者のA1cの変化
第64回日本糖尿病学会年次学術集会 2021/5/20-22 (Web) (富山)
- 7 古河てまり、竹内麻衣、本庶祥子、濱崎暁洋
コロナ禍における入院中の糖尿病教育の質向上に向けた取り組みの報告 ～糖尿病個別指導用資料の作成～
第8回日本糖尿病療養指導学術集会 2021/7/23-24 (Web) (浜松)
- 8 上田 覚、宮内由利子、小倉文菜、長岡一葉、本庶祥子、濱崎暁洋、竹内麻衣、尾上雅英 自施設
周辺地域におけるシックデイルール統一化の取り組み 第8回日本糖尿病療養指導学術集会
2021/7/23-24 (大阪)
- 9 綾野志保
妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠における周産期管理とフォローの実際

第9回日本くすりと糖尿病学会学術集会 2021/9/11-12 (Web) (大阪)

1 0 濱崎暁洋

糖尿病診療を通じた糖尿病患者の循環器疾患のアウトカムの改善

第9回日本くすりと糖尿病学会学術集会 2021/9/11-12 (大阪)

1 1 越井由佳子、本庶祥子、立野裕子、東坂秀作、境内大和、瀬野陽平、岩崎順博、岩崎可南子、綾野志保、濱崎暁洋

インスリン注射手技再教育時にみられた硬結の実態と再教育による効果

第58回日本糖尿病学会近畿地方会 2021/10/30 (京都)

1 2 高橋尚子、酒井麻里子、長谷部雅士、瀬野陽平、渋江公尊、綾野志保、本庶祥子、濱崎暁洋
顕著な高ナトリウム血症をきたした一例

第22回日本内分泌学会近畿支部学術集会 2021/11/13 (兵庫)

1 3 山村聡俊、長谷部雅士、酒井麻里子、高橋尚子、瀬野陽平、綾野志保、渋江公尊、本庶祥子、梶村益久、濱崎暁洋

非侵襲的に診断したリンパ球性漏斗下垂体後葉炎の1例

第234回日本内科学会近畿地方会 2021/12/4 (大阪)

1 4 吉村佳与子、瀬野陽平、岩崎順博、岩崎可南子、麻生芽亜、境内大和、周 素蘇、本庶祥子、濱崎暁洋

周産期血糖管理に高用量のインスリンを必要とした糖尿病合併妊娠の一例

第57回日本糖尿病学会近畿地方会 2021/10/17-31 Web (大阪)

1 5 濱崎暁洋

臨床検査とすすめる糖尿病診療臨床検査セミナー2021

糖尿病の検査・治療のNew Wave 2022/4/12 (大阪)

1 6 本庶祥子

高齢者糖尿病の特徴と治療の注意点

糖尿病 Web セミナー 2021/6/9 (大阪)

1 7 本庶祥子

糖尿病治療の現況と将来

豊中市女医会四十周年記念式典 2021/7/4 (大阪)

1 8 瀬野陽平

肥満外科療法前後でのインクレチン効果改善を確認した2型糖尿病の一例

Diabetes Seminar in HANSHIN 2021/7/9 (大阪)

1 9 濱崎暁洋

令和に加速する環境変化と糖尿病診療を考える

Web 講演会 2021/7/29 (大阪)

2 0 濱崎暁洋

令和3年これからの糖尿病診療

心血管疾患予防カンファレンス 2021 2021/8/21 (大阪)

2 1 濱崎暁洋

GLP-1 作用を適切に活かした糖尿病と代謝のコントロール

Web 講演会 2021/9/22 (大阪)

2 2 濱崎暁洋

シン・糖尿病診療～令和時代の治療と療養を考える～

第 11 回合同糖 Q 会 2021/10/2 (大阪)

2 3 濱崎暁洋

2 型糖尿病の治療戦略

第 20 回大阪糖尿病患者教育担当者研修会 (ODES) 2021/10/9 (大阪)

2 4 濱崎暁洋

糖尿病の病態と新しい機序の薬剤

第 31 回大阪 B. B. DM フォーラム 2021/10/16 (大阪)

2 5 長谷部雅士

リアルワールドにおける GLP-1 受容体作動薬の有用性

第 31 回大阪 B. B. DM フォーラム 2021/10/16 (大阪)

2 6 濱崎暁洋

糖尿病の病態と新しい機序の薬剤

西淀川区医師会学術講演会 2021/11/11 (大阪)

2 7 濱崎暁洋

糖尿病の初期薬物治療とフォローの注意点

糖尿病と膵癌を考える会 2021/11/20 (大阪)

2 8 濱崎暁洋

糖尿病・内分泌診療 Update

第 18 回 NDN オンラインカンファレンス 2021/11/25 (大阪)

2 9 濱崎暁洋

スタンダードな糖尿病薬物療法の条件を考える扇町

CV&DKD&DM Network 2021/12/2 (大阪)

3 0 渋谷公尊

アミノ酸にまつわる血糖管理のはなし: 臨床と基礎の視点から

DUAL LIVE Seminar in 大阪 2022/1/18 (大阪)

3 1 濱崎暁洋

糖尿病の病態と新しい機序の薬剤

DUAL WEB Seminar 2022/1/20 (大阪)

3 2 酒井麻里子、長谷部雅士、瀬野陽平、渋谷公尊、綾野志保、本庶祥子、濱崎暁洋

糖尿病教育入院を機に臨床診断し、冠動脈疾患 (CAD) の治療を施行し得た家族性高コレステロール血症 (FH) ヘテロ接合体の一例

第 15 回糖尿病臨床フォーラム 2022/2/12 (大阪)

3 3 濱崎暁洋

これからの後期高齢者糖尿病診療を考える

第 31 回大阪糖尿病合併症と医療連携の会 2022/3/5 (大阪)

- 3 4 瀬野陽平、長谷部雅士、酒井麻里子、渋谷公尊、本庶祥子、濱崎暁洋
減量・代謝改善手術前後でインクレチン効果の改善を確認した 1 例
第 100 回京都内分泌同好会 2022/3/12 (大阪)

- 3 5 瀬野陽平

片側副腎摘除術を施行した原発性アルドステロン症と副腎性サブクリニカルクッシング
症候群の合併例
第 12 回内分泌代謝トランスレーショナル医学塾 2022/3/18 (大阪)

【論文】

(原著論文)

- 1 Yoshiji S, Hasebe M, Iwasaki Y, Shibue K, Keidai Y, Seno Y, Iwasaki K, Honjo S, Fujikawa J, Hamasaki A*.
Exploring a Suitable Marker of Glycemic Response to Dulaglutide in Patients with Type 2
Diabetes: A Retrospective Study.
Diabetes Ther. 2022 Apr;13(4):733-746. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Yoshiji S, Horikawa Y*, ..., Iwasaki Y, Keidai Y, Aizawa-Abe M, Iwasaki K, Honjo S, ..., Hamasaki A.
First Japanese Family With PDX1-MODY (MODY4): A Novel PDX1 Frameshift Mutation, Clinical
Characteristics, and Implications.
J Endocr Soc. 2021 Oct 17;6(1):bvab159. (査読有り)
- 2 Hasebe M*, Shibue K, Honjo S, Hamasaki A.
Adrenocortical carcinoma.
QJM. 2022 Jan 21;115(1):43-44. (査読有り)
- 3 Keidai Y, Iwasaki Y*, Iwasaki K, Honjo S, ..., Hamasaki A*.
Sporadic Pseudohypoparathyroidism Type 1B in Monozygotic Twins: Insights into the
Pathogenesis of Methylation Defects *J Clin Endocrinol Metab.*
J Clin Endocrinol Metab. 2022 Feb 17;107(3):e947-e954. (査読有り)

(総説)

- 1 濱崎暁洋
高齢者の糖尿病① 高齢者と腎機能障害月間 糖尿病ライフ
さかえ 2021 年 4 月号 (査読なし)
- 2 濱崎暁洋
コロナ禍でまなんだ糖尿病診療
KAMing in press 2022 (査読なし)

【研究】

- 1 内分泌代謝疾患の新規バイオマーカーの探索
(岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、瀬野陽平、長谷部雅士、吉治智志、阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 遺伝性内分泌代謝疾患診断のための遺伝子解析研究
(岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、瀬野陽平、長谷部雅士、吉治智志、阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 3 代謝内分泌疾患の病態生理解明と治療効果検討のための観察研究
(岩崎順博、岩崎可南子、境内大和、瀬野陽平、長谷部雅士、吉治智志、阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 4 GH 産生下垂体腺腫における術後再発および薬物療法有効性予測因子の検討
(京都大学と共同研究)(岩崎順博、岩崎可南子、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 5 インスリン自己注射手技の適切な再教育による血糖コントロール改善の探索的調査
(日本ベクトンディッキンソン社と共同研究)
(越井由佳子、竹内麻衣、本庶祥子、境内大和、瀬野陽平、岩崎可南子、岩崎順博、濱崎暁洋)
- ※ 6 食事療法の計画・実行支援 AI プログラムにより PHR・EHR を糖尿病重症化予防医療に活用する仕組みの研究開発
(京都大学等と他施設共同研究)
- ※ 7 糖尿病の個別化栄養治療を支援する新医療機器プログラムの開発・事業化
(AMED 特定臨床研究)
- 8 原発性アルドステロン症の診断および治療経過における心血管・臓器障害の進行とリンパ球・サイトカインプロファイルの関連探索研究
(本庶祥子、濱崎暁洋)
- 9 糖尿病と癌の発症についての後方視的研究
(本庶祥子)
- 1 0 糖尿病患者における膵癌発生の前向き観察研究 (消化器内科との共同研究)
(本庶祥子、濱崎暁洋)
- 1 1 高齢者糖尿病患者におけるサルコペニアの評価と介入に関する研究
(本庶祥子、角田晃啓)
- 1 2 高齢者の生活自立に資する身体機能維持に必要な栄養素代謝環境の病態生理学的解明
(濱崎暁洋、角田晃啓、本庶祥子)
- 1 3 ソマトスタチンアナログ製剤投与時の膵・腸管内分泌修飾と耐糖能異常の研究
(阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 1 4 下垂体腫瘍の臨床的特性と発現因子の免疫組織学的解析
(阿部 恵、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 1 5 内分泌腫瘍による膵・腸管内分泌修飾の解析
(阿部 恵、岩崎可南子、濱崎暁洋)
- 1 6 マイクロRNAの網羅的解析による2型糖尿病の個別化食事療法の推進

(科学研究費助成事業 2019年度 若手研究)

(岩崎可南子、岩崎順博)

- 1 7 抗 GAD 抗体陽性患者の臨床的特徴に関する検討
(河崎祐貴子、本庶祥子、阿部 恵、濱崎暁洋)
- 1 8 血漿マイクロ RNA プロファイルを用いた糖尿病患者における癌早期スクリーニング法の確立
(岩崎順博) (武田科学振興財団医学系研究助成 岩崎順博)
- 1 9 免疫系における高血糖毒性の分子基盤解明とその糖尿病診療への応用
(科学研究費助成事業 2019年度 若手研究) (岩崎順博)
- 2 0 妊娠時耐糖能異常症例に対する介入効果の研究
(綾野志保、博多恵美、増田有美、古河てまり、山内亜耶、中山法子)
- 2 1 全科型糖尿病診療サポートチームの多面的効果に関する検討
(竹内麻衣、古河てまり)
- 2 2 膵島機能・量を修飾する因子の多面的解析
(岡村絵美、本庶祥子、濱崎暁洋)
- 2 3 SGLT2 阻害薬の血糖値改善効果と内分泌修飾に関する検討
(和田良春)
- 2 4 インスリン分泌と感受性、インクレチン作用の定量的評価
(濱崎暁洋)
- 2 5 日常診療環境において持続的運用が可能なデータベースとその統合についての検討
(濱崎暁洋)
- 2 6 糖尿病患者の水痘ウイルス免疫に関する研究 (感染症科と共同研究)
(本庶幸子、濱崎暁洋)
- 2 7 減量・代謝改善手術に際しての病態生理学的変化についての検討
(瀬野陽平、濱崎暁洋)
- 2 8 医療データからの診療行為の時系列的再構築に関する研究 (京都大学と共同研究)
(濱崎暁洋)
- 2 9 グルカゴン分泌修飾におけるインクレチンの役割の解明
(濱崎暁洋)
- 3 0 腸内環境と内分泌・代謝修飾連関の解明に関する研究
(濱崎暁洋)